

福島県飯舘村復興支援企画 第三回「までいをまとう」販売会を開催しました！

そごう・西武

2013/4/18

セブン&アイ HLDGS.

CSR アクション

東日本大震災から2年目を迎える3月9日(土)・10日(日)の2日間、西武所沢店で、福島県飯舘村復興支援企画第三回「までいをまとう」販売会を開催しました。

仮設住宅での生活を余儀なくされている福島県飯舘村の女性たちが、全国から寄贈された着物を使用して心を込めて制作した衣料品や装飾品・小物などを販売。被災地の復興を願い、被災地を応援したいという想いの多くのお客様にご来店いただきました。

月日は経ても、まだまだ変わらぬ現状が続き不安もあられるだろう中、自立を目指す飯舘村「いいたてカーネーションの会」の女性たち。朗らかな笑顔とバイタリティで厳しい現実を受け入れ乗り切っていくとするその前向きな姿と、彼女たちの活動を支援する方々、一緒に復興を願う多くのお客様の熱意が、今回の販売会を通じて、ひとつになれたと思えるほどの感動体験をさせていただきました。

今後もこのような活動を通じて、社会貢献活動に取り組んでまいりたいと思います。



(株)そごう・西武
西武所沢店
販売促進担当 広報担当
得丸 真実子

事前打ち合わせ



そごう・西武では、販売会場の提供のみではなく、事前にデザインのアドバイスや宣伝協力も行いました。

いいたてカーネーションの会の皆様



会場入り口。
皆様、笑顔がとても素敵でした。

販売会の様子



テレビ・新聞でも取り上げていただき、多くのお客様がご来店され、大盛況でした！

いいたてカーネーションの会の方たちも熱心に接客されていました。



飯舘村の女性たちが心を込めて制作した衣料品・装飾品・小物。

「までい」とは、「大切に」「心を込めて」という意味の福島県飯舘村周辺の言葉です。



仮設住宅での「まで衣着」制作風景写真展



いいたてカーネーションの会の皆様の紹介の一言とともに、写真を展示。



飯舘村のさまざまな様子を写真で紹介。多くのお客様が足を止めて写真に見入っていました。

「中島農園」も出展



福島県から所沢へ避難され、農業を再開された中島様が野菜とイチゴを販売。福島県で農業をされていた時には、セブン&アイグループのヨークベニマルとお取引がありました。

お客様の声

遠くは九州から駆けつけてくださったお客様、過去2回の販売会にもご来店いただいたお客様、多くのお客様にご来店いただきました。心からお礼申し上げます。お客様から、多くの暖かいメッセージをいただきました。

- テレビ、新聞を見て来ました。
- 昨年そごう柏店で開催された時も行きました。
- 日ごろから被災地の力になりたいと思っていたが、具体的に方法がわからなかったので、良い機会だと思って来店しました。
- 自分も福島県から避難してきているので、同郷の者として、応援したくて来店しました。
- ぜひ着物を送りたい。

セブン&アイグループは、これからもお客様とともに、被災地の復興支援に取り組んでまいります。